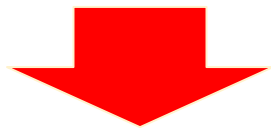


金沢ふるさと学習（SDGsの取り組み）

三和の未来を作ろう！
～みんなが住みやすい町にするには～

金沢市立三和小学校 5年

この学習につながるSDG'sの目標



みんなが住みやすい町

今年の5年生の総合学習

<みんなが住みやすい町にするために
自分たちにできることってなんだろう>

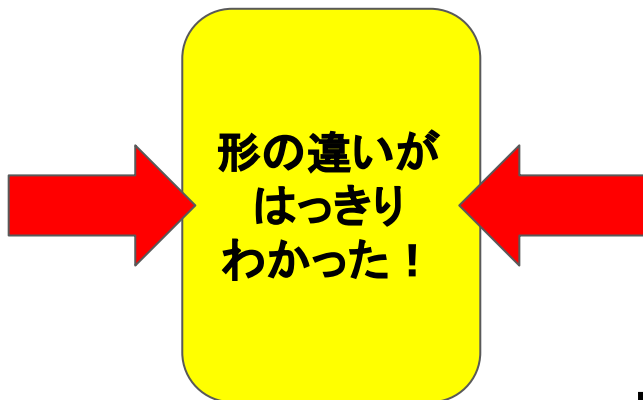
視覚障害者の方のくらしとやさしい工夫

石川県視覚障害者協会から視覚障害の方をお招きし、日常の大変さや身の回りの製品の工夫について教えていただいた。



触って分かる
お酒とシャンプー

お酒の缶：点字で「お・さ・け」
シャンプー：容器の横にギザギザ



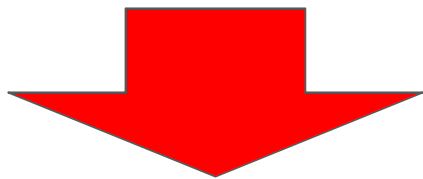
足の裏で確かめる
点字ブロック

「丸」は止まれ・注意
「棒」は進め・進む方向

視覚障害者の方のお話を聞いて

○体験で気づいたこと

- ・私たちの身の回りには見えなくてもわかる工夫がたくさんあった！
- ・それらの工夫が何のためにあるかを知っていないと、
だれかにとっての安全な道が危険な道に変わっている！



<みんなが住みやすい町にするために
自分たちにできることってなんだろう>

高齢者体験を通して分かったこと

・「あたりまえ」に歩いていただけ、高齢者の方や体が不自由な方にとっては誰か「あたりまえ」ではないことに気づきました。

・おもりの重さ、関節の曲がりにくさ、ぼやける視界が大変だ。



私たちにできそうなこと

歩くスピードを合わせる

声をかける

支えながら歩く

つまずきそうな物を 置か
ないように整理整頓する

何かできそう！

何かすることでみんなが住みやすい町につながる！

いろいろな人

妊婦さん

外国人

けがした人

聴覚障害の人

そんな人たちにとっても住みやすい町にするために、
三和小学校のみんなにも知ってもらおう！

他にも工夫がされて点字が使われている物がいっぱいあります。



他にも点字が使われている物が多くあります。ボンドやエレベーター、他にもいろいろな品物や建物など身の回りのところにたくさんあります。

シャンプーには側面に出っ張りが、リンスには出っ張りがありません。
これがあるおかげで、シャンプーと、リンスの違いがわかります。



この写真は左からシャンプー、リンスです。皆さんは、2本の違いに気づきますか？

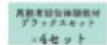
二男	三男	四男	五男	六男
----	----	----	----	----



かたも痛いし、足や手も重かったです。

高齢者体験はたいへんで重くてイスにすわるのがむずかしかったしせなかがいたかったです。高齢者は大変だなとおもいました。

高齢者体験



自分達にできることは何だろう？

夜中に大声を出さない

電車やバスで高齢者に席を譲る

困った人がいたら声をかける



自分達ににできることは、夜中に大声を出さないこと、電車やバスで高齢者がいたら席をゆずること、困っている人がいたら声をかけることです。

自分たちにできることは何だろうと考えました。自分が席に座っていたら譲ってあげたり、点字ブロックの上に物を置かないようにすることもできます。みなさんも自分たちにできること考えてやってみましょう。

自分達にできることは何だろう？

自分が席に座っていたら、ゆずりあう。
点字ブロックの上に物を置かない。
もしも町にごみが落ちていたら自分からきれいにする。



まとめ

「みんなが住みやすい」の「みんな」にはお年寄りや体の不自由な人、妊婦さん、外国の人など、いろいろな立場の人が含まれていると分かりました。SDGsの「誰一人取り残さない」という目標を大切にして、みんなが笑顔でらせる町をつくっていくことが大切です。そのために、全校のみんなにも自分達が学んだことを伝えることが大切だと思いました。

10年後、20年後も住み続けられる未来の三和の町を自分達の手でつukっていきたいと思います。これからも私達が暮らすこの町を大切にし、「誰もが住みやすい町」を目指して考え続けていきたいです。